

2020・2021年度 政治学研究会

政治学研究科では、以下のように研究会を開催しました。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、下記の研究会はすべてオンラインで開催されています。また、肩書きは当時のものです。

2020年度

- 第1回 7月12日（木） 光田剛（法学部教授）
「盧溝橋への道——日中戦争前夜の華北」
- 第2回 9月24日（木） 羽鳥拓志（法学政治学研究科博士前期課程）
「教育における政治的中立——後期ロールズの理論から」
- 第3回 10月8日（木） 亀嶋庸一（学園長）
書評会「野口雅弘『マックス・ウェーバー——近代と格闘した思想家』」
- 第4回 11月12日（木） 福田宏（成城大学法学部准教授）
書評会「立石洋子『スターリン時代の記憶——ソ連解体後ロシアの歴史認識論争』」
- 第5回 2021年1月14日（木） 西山隆行（法学部教授）
「「2020年米大統領選挙とアメリカの政治社会の分断」

2021 年度

- 第 1 回 5 月 27 日（木） 宮井健志（法学部客員准教授）
「離脱の民主的価値について——離脱機会の保障を通じた政治参加の活性化」
- 第 2 回 6 月 17 日（木） 梅澤佑介（法学部助教）
「『市民の義務としての〈反乱〉』とその後の展望」
- 第 3 回 7 月 8 日（木） 小松寛（アジア太平洋研究センター主任研究員）
「自治体外交を再考する——沖縄県の事例を通して」
- 第 4 回 10 月 14 日（木） 成田大起（日本学術振興会特別研究員・PD）
「現代資本主義における正統化の問題——ハーバーマスの資本主義の危機分析と批判を再考する」
- 第 5 回 11 月 11 日（木） 浅羽隆史（法学部教授）
「コロナ禍の予算編成」